

非水ガラス系セメントミルク凝結硬化促進剤

SELECTOR[®]

瞬結・中結

特徴

- 非水ガラス系セメントミルクグラウト剤のため、恒久的強度を必要とする地盤安定強化、湧水防止等に有効です。
- 一般のセメントミルクと比較するとブリージングは殆どありません。
- ゲル化後の初期強度発現は良好です。
- セメント鉱物系組成物ではありませんのでそれ自体水と反応して硬化する事はなく取り扱いが簡単です。
- 硬化剤・促進剤は瞬結・中結共通です。

荷姿

- 硬化剤 SE2: 20kg ビニール袋入り
- 促進剤 : 12kg ビニール袋入り
- 調整剤 : 18kg ポリ内装段ボール箱入り

配合表

A液 (2000)			B液 (2000)			
普通セメント	促進剤	水	硬化剤 SE2	調整剤	水	
125kg	12kg	155.1L	瞬結	20kg	—	194L
			中結	20kg	1.5kg	192.8L

取り扱い上の注意

- ① SELECTORは硬化剤、促進剤はアルカリ性ですので、耐アルカリ性手袋、保護メガネ、保護マスク、液がしみ込まない保護着衣、ゴム長靴等を着用し、衣服や身体に触れないようにして下さい。特に目等の粘膜面への付着、袖口、首筋、靴の中には十分注意して下さい。取り扱い後は、手洗い、うがい、洗顔を十分行って下さい。
<応急処置>
 - ・目に入った場合は、多量の水で15分以上洗浄しできるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
 - ・誤って飲み込んだ場合は、口の中をよく洗浄しコップ1～2杯の水または牛乳を飲ませて下さい。その際無理に吐かせないで下さい。その後直ちに医師の診察を受けて下さい。
 - ・皮膚に付着した場合は、直ぐに多量の水で、ぬめりが完全に取れるまで洗浄して下さい。異常を感じた場合は直ちに医師の診察を受けて下さい。
- ② SELECTORの保管、貯蔵に当たりましては、高温多湿とまらない場所に保管して下さい。また、水濡れしないように保管して下さい。

調合方法

A液：



- ① 所用量の水を張り、攪拌しながら促進剤を投入して十分に分散させます。
- ② 更に攪拌しながら所用量のセメントを投入して、均一に分散させA液を調合します。
- ③ A液は沈降しやすいので、調合後も攪拌機は停止しないで下さい。

B液：

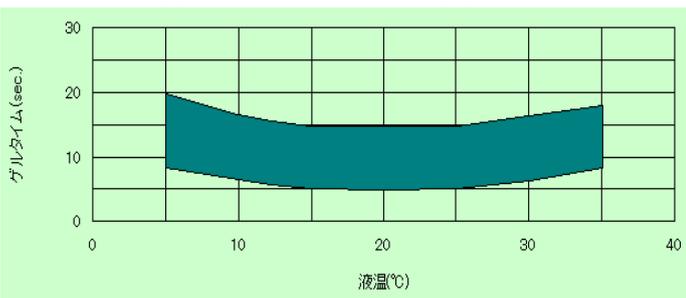


- ① B液は経時的に沈降しますので、縦型2連攪拌機の使用を推奨します。
- ② 所用量の水を張り、攪拌しながら調整剤を投入します。
- ③ 更に攪拌しながら硬化剤 SE2を徐々に投入し1～2分攪拌します。水温が10℃以下の場合は4～5分攪拌して下さい。
- ④ 調合後も攪拌機は停止しないで下さい。

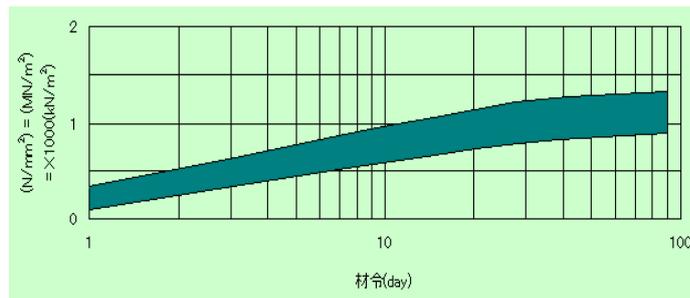
性能

瞬結

ゲルタイム (液温 20℃ : 5 ~ 15 秒)

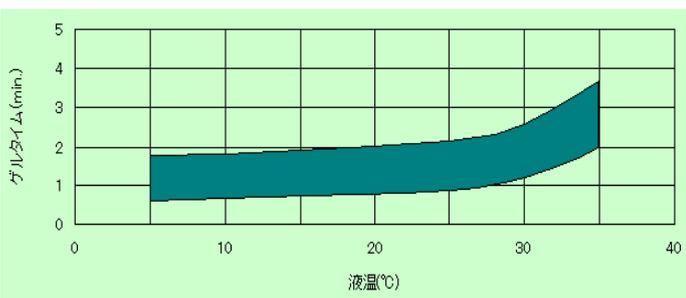


ホモゲルー軸圧縮強度 (28日後 : 約 1 (N/mm²))

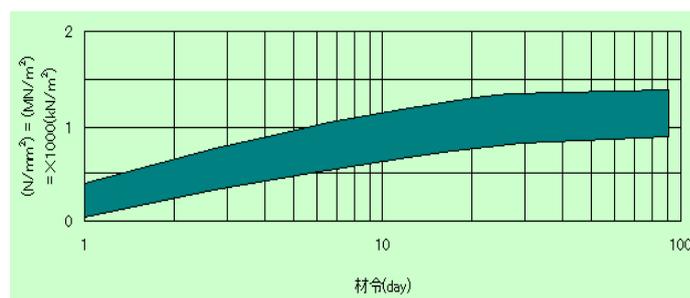


中結

ゲルタイム (液温 20℃ : 40 秒 ~ 2 分)



ホモゲルー軸圧縮強度 (28日後 : 約 1 (N/mm²))



参考資料

概要

ゲルタイム設定を 3 分以上にする場合あるいは混練水に海水を使用する場合、別途添加剤が必要になります。この場合の配合例と性能を記載した資料です。

配合表

A液 (2000)			B液 (2000)				
普通セメント	促進剤	水	ゲルタイム	硬化剤 SE 2	添加剤	調整剤	水
125 kg	12 kg	155.1 L	中結 3分	20 kg	10 kg	3 kg	188.7 L
			中結 5分	20 kg	10 kg	4.2 kg	187.7 L

性能

中結 3分		中結 5分	
ゲルタイム	: 約 2分30秒 ~ 5分	ゲルタイム	: 約 4分30秒 ~ 9分
一軸圧縮強度 (28日後)	: 約 1.5 ~ 1.8 (N/mm ²)	一軸圧縮強度 (28日後)	: 約 1.5 ~ 1.8 (N/mm ²)

配合表 (海水練り)

A液 (2000)			B液 (2000)				
普通セメント	促進剤	海水	ゲルタイム	硬化剤 SE2	添加剤	調整剤	海水
125 kg	12 kg	155.1 L	瞬結	20 kg	10 kg	—	191 L
			中結 1分	20 kg	10 kg	3 kg	188.7 L

性能

瞬結		中結 1分	
ゲルタイム	: 約 5 ~ 10 秒	ゲルタイム	: 約 30 秒 ~ 2 分
一軸圧縮強度 (28日後)	: 約 1.5 ~ 1.8 (N/mm ²)	一軸圧縮強度 (28日後)	: 約 1.5 ~ 1.8 (N/mm ²)

